

# 検査診断体制ひっ迫時における 高齢者施設等職員の定期検査を用いた COVID-19のトレンド把握

大東文化大学 中島一敏

名古屋市健康福祉局医監 松原史朗

名古屋市健康福祉局新型コロナウイルス感染症対策部主幹 楫屋 和紀

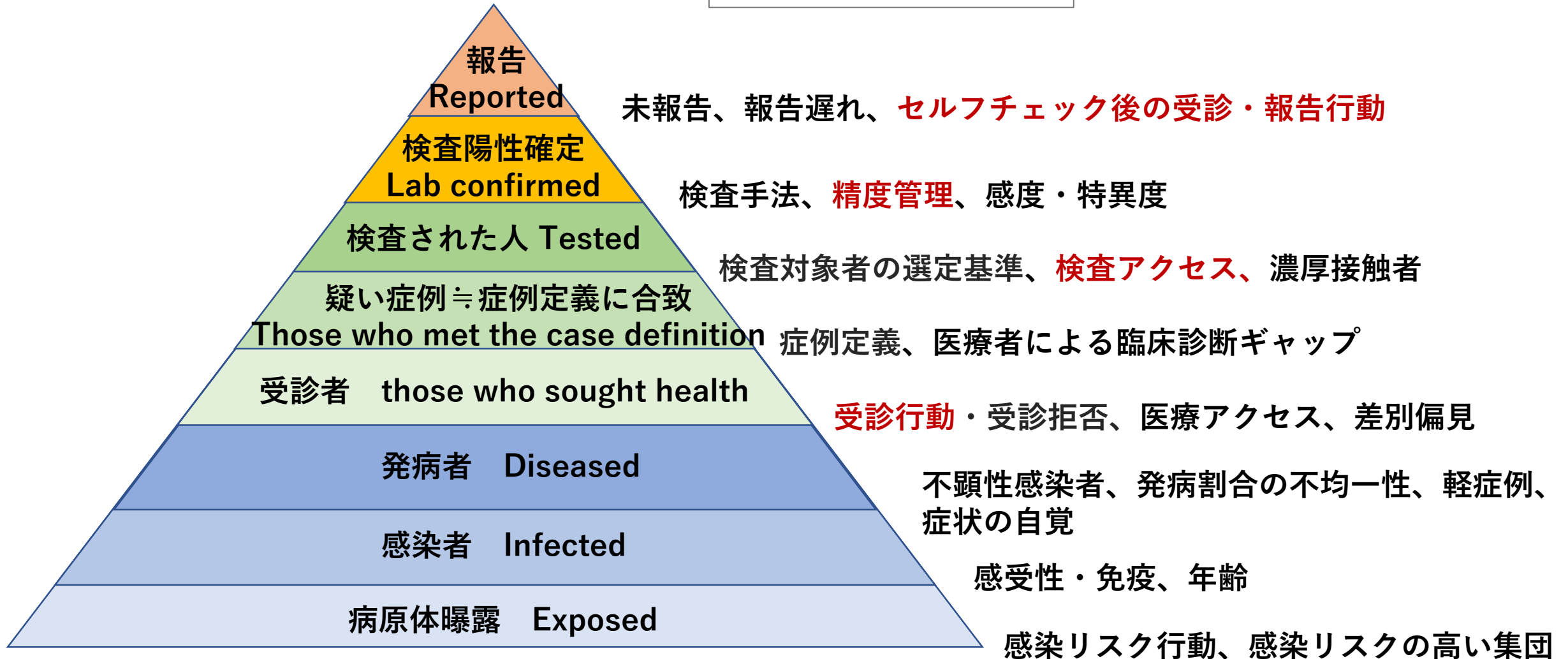
# 背景

- 第7波における検査陽性者数の過小評価の懸念
  - 検査診断体制のひっ迫による検査アクセスの低下
  - 流通する抗原定性検査キットの不足
  - 重症者や重症化の懸念される患者の医療を確保する目的で、若年者で軽症の人に対する受診を控えた自宅療養への呼びかけを行ったことによって、有症状者の受診行動が変化した可能性
  - 保健所の積極的疫学調査の重点化により、濃厚接触者が特定されにくくなった
- 過小評価の検証とトレンドの継続的把握の必要性

# サーベイランスの三角形：報告者数の解釈

三角形の相似比が一定していればトレンド・レベルの把握は可能

ギャップ・ゆらぎの要因

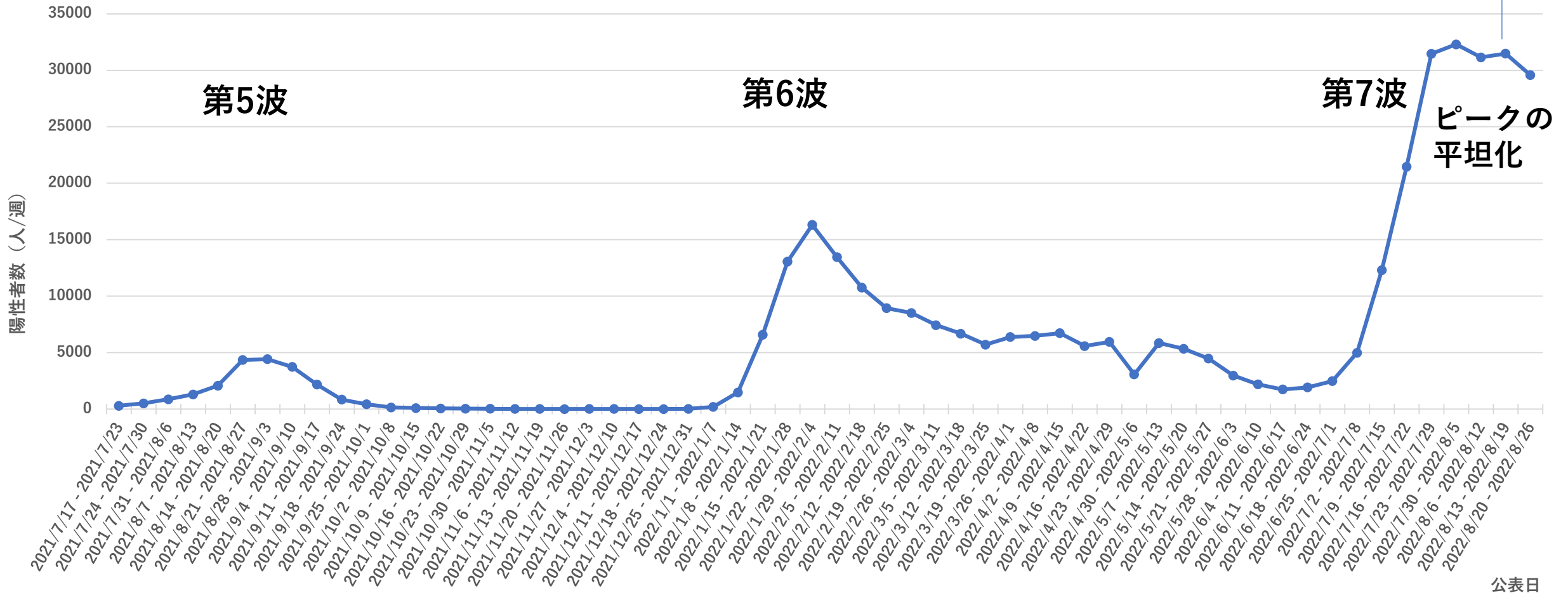


# 方法

- 高齢者施設等職員に対する定期検査
  - 対象：市内の参加施設の職員
    - 高齢者施設、障害者施設、救護施設
      - 事業に参加している施設数（8月）：1052  
（参考）市内総施設数4241：高齢者施設2356、障害者施設1883、救護施設2
    - 受検者は施設に一任（月単位集計で全職員の約1/3）
  - 頻度と検査法：月2回（概ね隔週）
    - 唾液を用いたPCR法
    - 7/25から週2回の抗原定性検査も選択可
      - 内訳（8月）  
PCR及び抗原定性：357施設、PCRのみ：497施設、抗原定性のみ198施設
- 市内の公表陽性者数
  - 名古屋市HP. 新型コロナウイルス発生状況（令和4年8月31日現在）  
<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000126920.htm>

# 名古屋市におけるCOVID-19陽性者数のトレンド, 2021.7.17-2022.8.26

検査診断体制のひっ迫  
2022.8.10  
陽性者登録センター開設



名古屋市HP. 新型コロナウイルス発生状況 (令和4年8月31日現在)

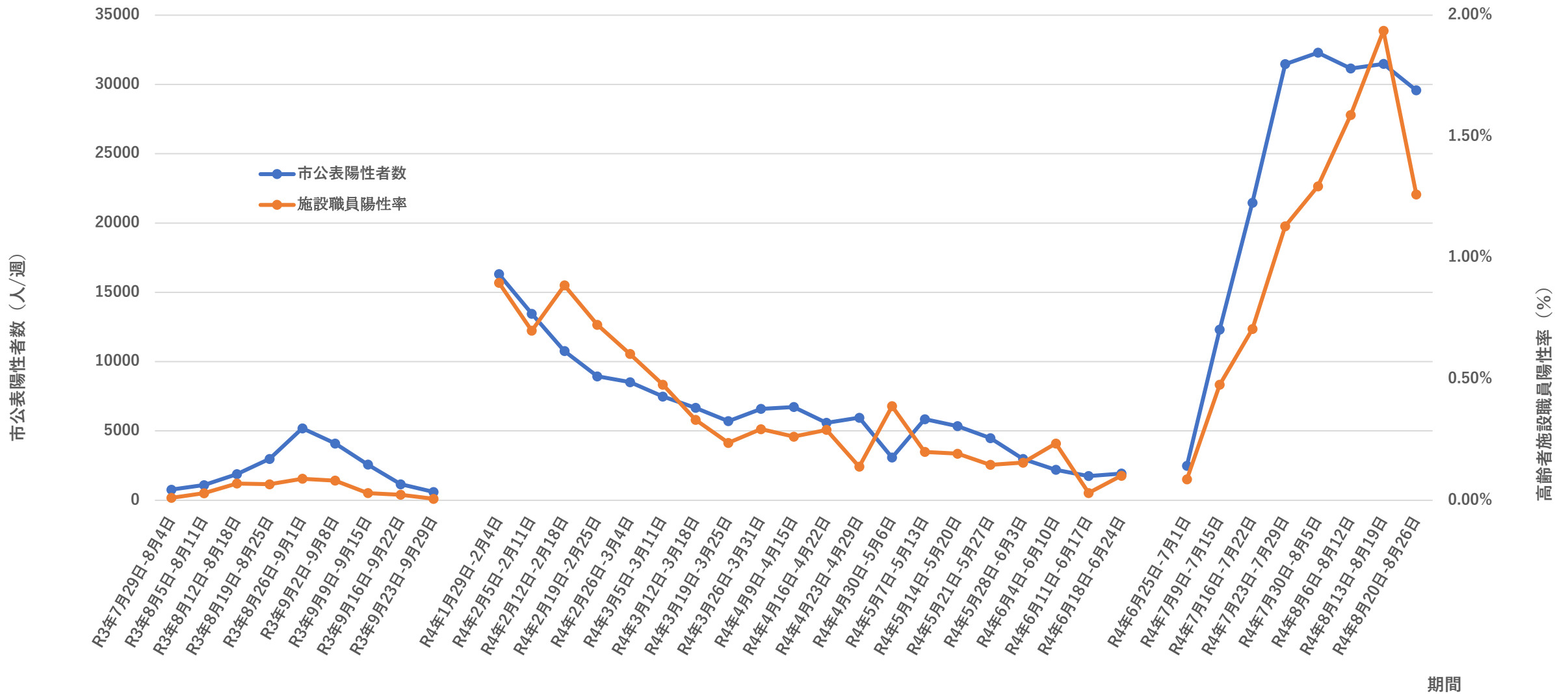
<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000126920.html>より作成

# 高齢者施設職員の検査陽性率と市公表陽性者数の推移、 2021年7月29日～2022年8月26日

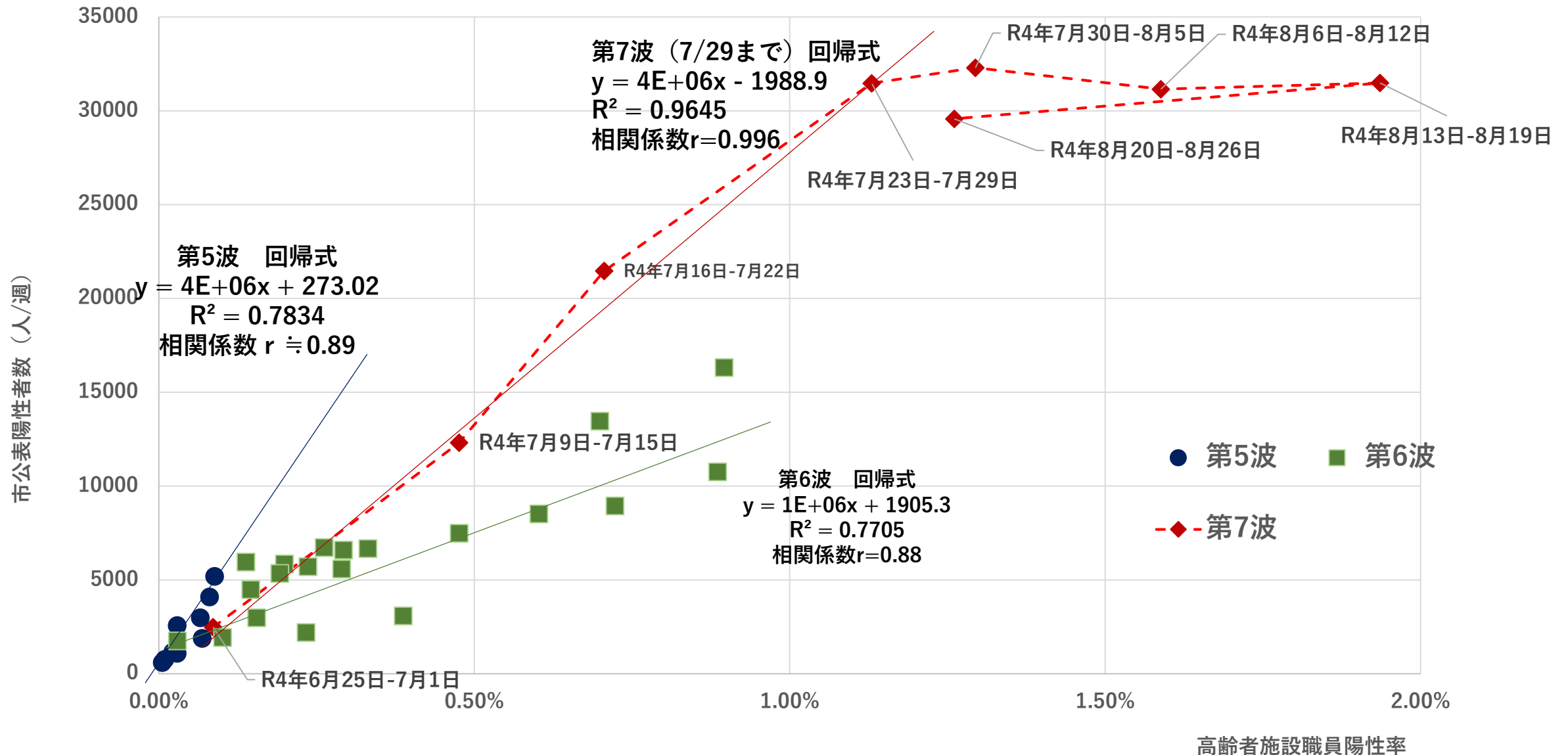
実施期間	市公表陽性者数	施設職員陽性率	検査数	陽性者数
R3年7月29日-8月4日	765	0.01%	10389	1
R3年8月5日-8月11日	1088	0.03%	10313	3
R3年8月12日-8月18日	1883	0.07%	11595	8
R3年8月19日-8月25日	2980	0.07%	15194	10
R3年8月26日-9月1日	5185	0.09%	14652	13
R3年9月2日-9月8日	4089	0.08%	14887	12
R3年9月9日-9月15日	2568	0.03%	17015	5
R3年9月16日-9月22日	1152	0.02%	13428	3
R3年9月23日-9月29日	594	0.01%	17426	1
R4年1月29日-2月4日	16312	0.90%	1227	11
R4年2月5日-2月11日	13452	0.70%	15161	106
R4年2月12日-2月18日	10761	0.89%	7675	68
R4年2月19日-2月25日	8937	0.72%	10646	77
R4年2月26日-3月4日	8515	0.60%	8295	50
R4年3月5日-3月11日	7486	0.48%	10917	52
R4年3月12日-3月18日	6667	0.33%	12063	40
R4年3月19日-3月25日	5708	0.24%	13524	32
R4年3月26日-3月31日	6590	0.29%	8872	26
R4年4月9日-4月15日	6725	0.26%	9538	25

実施期間	市公表陽性者数	施設職員陽性率	検査数	陽性者数
R4年4月16日-4月22日	5585	0.29%	8618	25
R4年4月23日-4月29日	5950	0.14%	12303	17
R4年4月30日-5月6日	3077	0.39%	4384	17
R4年5月7日-5月13日	5850	0.20%	10539	21
R4年5月14日-5月20日	5344	0.19%	8339	16
R4年5月21日-5月27日	4479	0.15%	13023	19
R4年5月28日-6月3日	2975	0.16%	3867	6
R4年6月4日-6月10日	2194	0.23%	8987	21
R4年6月11日-6月17日	1744	0.03%	6738	2
R4年6月18日-6月24日	1925	0.10%	9886	10
R4年6月25日-7月1日	2482	0.09%	5810	5
R4年7月9日-7月15日	12313	0.48%	5674	27
R4年7月16日-7月22日	21466	0.71%	11476	81
R4年7月23日-7月29日	31464	1.13%	13894	157
R4年7月30日-8月5日	32295	1.29%	1468	19
R4年8月6日-8月12日	31152	1.59%	11583	184
R4年8月13日-8月19日	31480	1.94%	6716	130
R4年8月20日-8月26日	29574	1.26%	11261	142

# 高齢者施設職員の検査陽性率と市公表陽性者数の推移、 2021年7月29日～2022年8月26日



# 高齢者施設職員の検査陽性率と市公表陽性者数の相関関係、 2021年7月29日～2022年8月26日





# 考察

- 高齢者施設職員に対する定期検査陽性率は、地域流行と強い相関がある
- 第7波では、7月30日の週より、検査診断体制のひっ迫を背景に陽性者数が頭打ちとなり、感染者数が過小評価となった可能性
  - 現在の検査診断体制の限界とひっ迫時の「全数報告」の限界
- 陽性者登録センターの開設と短期間の運用では、過小評価は完全には補えていないと考えられる
- 検査診断体制のひっ迫が生じるような流行の際には、全数報告制度のみに依存する体制では、流行のトレンドとレベルの把握が困難となることが懸念され、補完するシステムの活用が重要となる。
- 高齢者施設職員に対する定期検査は、検査診断体制のひっ迫時に、流行のトレンドとレベルの把握に有用である

# 謝辞

- 名古屋市新型コロナウイルス感染症対策室検査担当